

先生方、学習者の皆さま方、お取引先様へのお詫び

2020年7月7日
株式会社いいずな書店
代表取締役社長
前田道彦

いいずな書店は、新型コロナウイルス感染から社員の命と先生・生徒様の安全を守るため、7月8日（水）から7月31日（金）までテレワークの実施と対面営業の禁止を含む業務シフトの変更を実施させていただきます。

先生方、学習者の皆さま方、お取引先様には大変ご迷惑をお掛けしますが、なにとぞご寛容のほどお願い致します。

具体的には

1. 本社での電話のご対応時間をこの期間 10 時～16 時にさせていただきます。
電話対応を行う管理部門の出社社員数を減らし業務時間を短くするためです。
2. 関東甲信越・静岡県東部地域において、弊社（首都圏在住）営業社員による先生方との対面営業を禁止させていただきます。ただしお見本のご要望は歓迎いたします。
3. 編集部門は全員自宅勤務にさせていただきます。

東京都の新型コロナウイルス感染者数は7月2日 107人・7月3日 124人・7月4日 131人・7月5日 111人・7月6日 102人と5日連続で三桁となりました。都は「医療体制が拡充したため、非常事態宣言を出すほどではない」と述べています。

7月2日、国もこの事態を受けて閣内連絡会議を開きましたが20分で終了し、「自治体と密に連携しながら対応する」と発表しておしまいになりました。

それに対し医療関係者は、「100人台の感染者が連日出てくると感染経路の追跡や患者の受け入れ態勢が厳しくなる」（国際医療福祉大学 松本哲哉教授）、国際医療研究センターの大曲センター長は7月1日までの感染経路不明者の増加率から計算すると「このペースが継続すれば4週間後に約6倍に増える」との推計を公表しました。

また都は「“夜の街”がクラスターになっているだけ」かのような表現をしておりますが、“夜の街”に繰り出した人たちが、昼間は完全に活動を止めているわけではありませぬし、“客”には家族も職場もあるはずです。“夜の街”感染は遅かれ早かれ感染拡大を引き起こすでしょう。

残念ながら国や東京都の対応は、「経済は止めることができないので自己責任で感染防止しなさい！」と主張していると認識せざるを得ません。

いいずな書店は、社員の命と社員の家族の安全、そして学校関係者を守り、学習者の学習をサポートすることを新型コロナウイルス感染拡大期の会社理念としてきました。

この考え方にに基づき、本社、および関東甲信越・静岡県東部地域の業務シフトを本年7月8日（水）から7月31日（金）まで標記のようにさせていただきます。

新型コロナウイルス感染が各地方に拡大する可能性が出てくれば、いづな書店は関東地域と同じ措置を取るつもりです。

関係各位様には本当にご迷惑をお掛けいたしますが、なにとぞご容赦のほどお願い申し上げます。